

## 「良い習慣」を家庭・地域・学校で共通指導

### 何が何でも「良い習慣」

文部科学省高等教育局高等教育企画課長 浅田和伸

NHKの大河ドラマは会津が舞台で「ならぬものはならぬ」の「什の掟」(じゅうのおきて)が登場する。「年長者に礼を持って接する」「うそをつかない」「卑怯な振る舞いをしない」「弱い者いじめをしない」「外で物を食べない」など、今でも子どもたちに(本当は大人にも)教えたい「基本の基本」だ。

無論、お題目では駄目で、これらを体に染み込ませ、自然に実践できるようにすることが目標だ。その前段階として、何が良くて何が悪いかを繰り返し意識させ「常識」にしてしまうことにも大きな意味がある。その上で、守れなければ何万回でも注意し、できるようにする。

基本的な生活習慣や学習、読書の習慣も含め、子どもの中に「良い習慣」を徹底的に身に付けてやるのが、その子の人生にどれだけ大きな助けになるか。初等中等教育、とりわけ義務教育の関係者はもっと重要視するべきだ。

例えば、小学校に行くと、鉛筆の持ち方がめちゃくちゃな児童が大勢いる。どうして直させないのか。一生そのままでもいいと思っているのか。

校長時代に私が繰り返し説いたのは、挨拶、姿勢、早寝・早起き・朝ごはん、毎日の家庭学習と読書の習慣など。これらは、すぐに役立たなくなる瑣末(さまつ)な知識と違い、生涯役に立つ「生きる力」だ。

学力についても、汎用性の高い、有効期限の長い力こそ確実に付けてやりたい。私が特に大事だと考えるのは、例えば、「学習法の学習」、作文力や人前で発表する力、IT活用能力などだ。

日本の子どもは他国に比べ自己肯定感が低いといわれる。筆記試験の点数で自信を無くさせるより、子どもらが前向きに生きていけるようにしてやることの方が先決ではないか。

そして、自信を持たせるための一番の正攻法は、「できるようにしてやる」ことだ。自信を持ち、目標を見つけることができれば、彼らは自然に伸びていく。そのためにも徹底的に「良い習慣」をつけること。これが教育の「基本の基本」だと思う。

(時事通信社・内外教育 2013年1月29日号より)

学校で授業参観をさせていただくと、確かに間違っただ鉛筆の持ち方をしている子どもが多くなってきたことを感じます。また、子どもたちの読書習慣がなくなっています。

全学校がコミュニティ・スクールに指定されている開成町では、例えばあいさつ運動を実施した時は、家庭・地域がともにあいさつ運動を実施して、さらなる効果を上げていくことが、家庭・地域・学校の連携なのかと考えます。

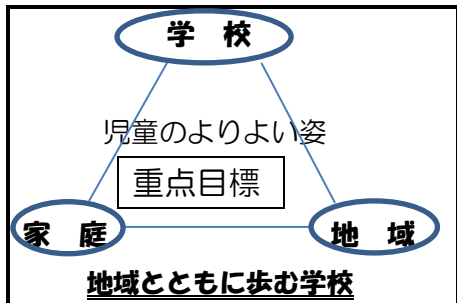
家庭・地域・学校が連携を深めるには、地域の学校の経営方針について家庭や地域が熟知し、どのように支援をしていくことが学校教育の成果を高めしていくことにつながるかを知っていることが大切かと考えます。



# 文部科学省による「学校の総合マネジメント力強化セミナー」

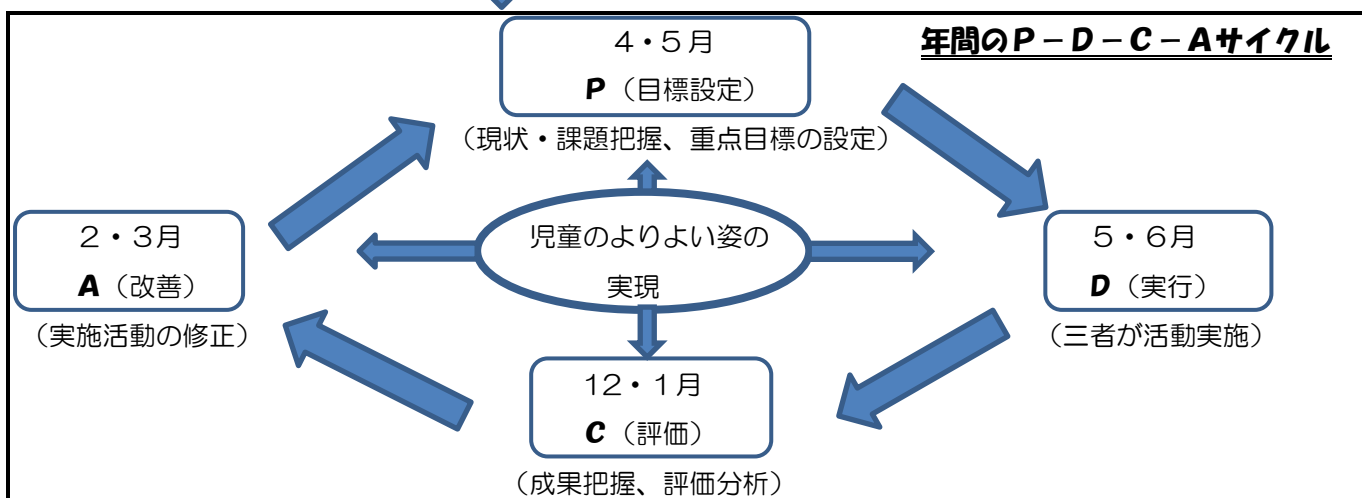
平成 25 年 2 月 1 日。文部科学省にて「学校の総合マネジメント力強化セミナー」が開催されました。

その中に仙台市の事例発表がありました。仙台市は「学校・家庭・地域の三者協働で行う協働型学校評価の取組」というテーマのもと、学校評価の研究を発表しました。



(※図は、仙台市の発表資料から作成しました。)

- 学校（教職員）による児童の現状と課題の把握
- 三者（学校・家庭・地域）による児童の現状と課題の共有（学校関係者評価委員会）
- 重点目標の決定（学校・家庭・地域がめざす目標）
- 三者ができる活動で目標達成を図る。



※ 1 年間の **P (Plan 目標設定) — D (Do 実行) — C (Check 評価) — A (Action 改善) サイクル**により複数年で三者が目標達成をめざします。

学校だけでなく、家庭と地域がともに同じ目標を持ち、自らの活動を実行し評価し、目標達成をめざすという流れは開成町としてもそれぞれの学校の運営に参考になるものと考えます。

## 青少年指導員による「中学生地域交流 ゲートボール大会」

開成町青少年指導員の主催による、恒例の『中学生地域交流ゲートボール大会』が今年 30 回を迎えることとなりました。

今年は各地区の中学生 18 チーム、文命中学校教職員 1 チーム、文命中学校 P T A 1 チーム、開成町議会議員 1 チームの合計 21 チームが競い合いました。

開成町ゲートボール連合の方々、自治会の方々にはご指導や協力をいただき、中学生も楽しい一日を過ごすことができたようです。毎年開催されているこのゲートボール大会がさらに歴史を重ね、町中が楽しめる大会になることを祈念したいと思います。

このように、中学生が地域の方々と交流を持つことは、毎年 9 月に行われる防災訓練にも実施されていて、文命中学校の学校だよりには各自治会の防災訓練の内容と中学生の防災訓練への参加を促す記事が掲載されています。中学生に地域の一員であるという自覚を促すことは大切なことであると考えます。

